

平成26年度 第2回援助会員養成講座

会 場 松阪市産業振興センター（松阪市本町2176番地）
 対 象 松阪市内及び近隣市町に在住する20歳以上の方
 募集人数 30名（先着順）
 受講料 無料（但しテキスト代 2,200円が必要となります）
 託 児 無料（必要な方は1/14（水）までにお申し込みください）
 飲み物・おやつをご持参ください



日	時 間	講座内容	講 師(敬称略)
1月22日(木)	① 9:30～11:00	保育サポーターの役割と心得	(特)松阪子どもNPOセンター理事長 塩谷明美
	② 11:10～13:10	子どもの遊び	鈴鹿短期大学生活コミュニケーション学科こども学専攻特任准教授 山野栄子
	③ 14:00～17:00	子どもの事故と安全・幼児救急法	日本赤十字社三重県支部 富内直美
1月29日(木)	④ 9:30～12:30	子どもの発育と病気	イワサ小児科院長 岩佐敏秋
	⑤ 13:20～15:20	保育の心	育児支援アドバイザー 堀川美子
	⑥ 15:30～16:00	松阪市の子育て支援サービスの現状	松阪市福祉事務所こども未来課こども係長 鈴木良行
	⑦ 16:00～16:30	事業を円滑にすすめるために	まつさかファミリーサポートセンターアドバイザー
1月31日(土)	⑧ 9:30～12:30	子どもの心の発達と障害について	高田短期大学子ども学科学科長 千草篤麿
	⑨ 13:30～16:30	小児看護	(株)ジェネラス訪問看護ステーション ほたるいせ管理者 岡田まり
2月6日(金)	⑩ 9:30～12:30	子どもの栄養と食生活	元三重中京大学食物栄養学科教授 馬場啓子
	⑪ 13:20～14:50	乳児の暮らしとケア	松阪市三雲地域振興局地域住民課 保健師 中野恵美子
	⑫ 15:00～17:00	講座を振り返って	まつさかファミリーサポートセンターアドバイザー

★1時間の利用料金★

★援助開始3時間前までに依頼があった場合★	
平日 7:00～19:00	700円
平日の上記以外の時間・土日祝日	800円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,000円
★援助開始まで3時間を切った場合・軽い病児・病後児★	
平日 7:00～19:00	1,000円
平日の上記以外の時間・土日祝日	1,200円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,400円

★1回あたりの宿泊の利用料金★

22:00～6:00（連続8時間）	5,000円
年末年始の同じ時間（12月29日から1月3日）	7,000円

まつさかファミリーサポートセンター

〒515-0043 松阪市下村町 1115（特）松阪子どもNPOセンター内
 TEL/FAX 0598-60-1820
 E-mail mfsc@mknpo.jp
 ホームページ <http://www.mknpo.jp/mfsc/>
 開 所 時 間 月曜～金曜 8:30～19:00



『あなたの子育て応援します』

2015年1月（第23号）

ファミサポ ホットタイム

発行元：まつさかファミリーサポートセンター



平成26年度第1回援助会員養成講座

あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いします。

昨年ニュージーランドへ子育て支援の視察に行った際、子どもの気持ちを尊重し、子どもの持つ可能性を信頼している子ども観に触れました。このような環境のもとで子どもが成長できたら、自分を肯定でき、自分に自信が持てると思います。

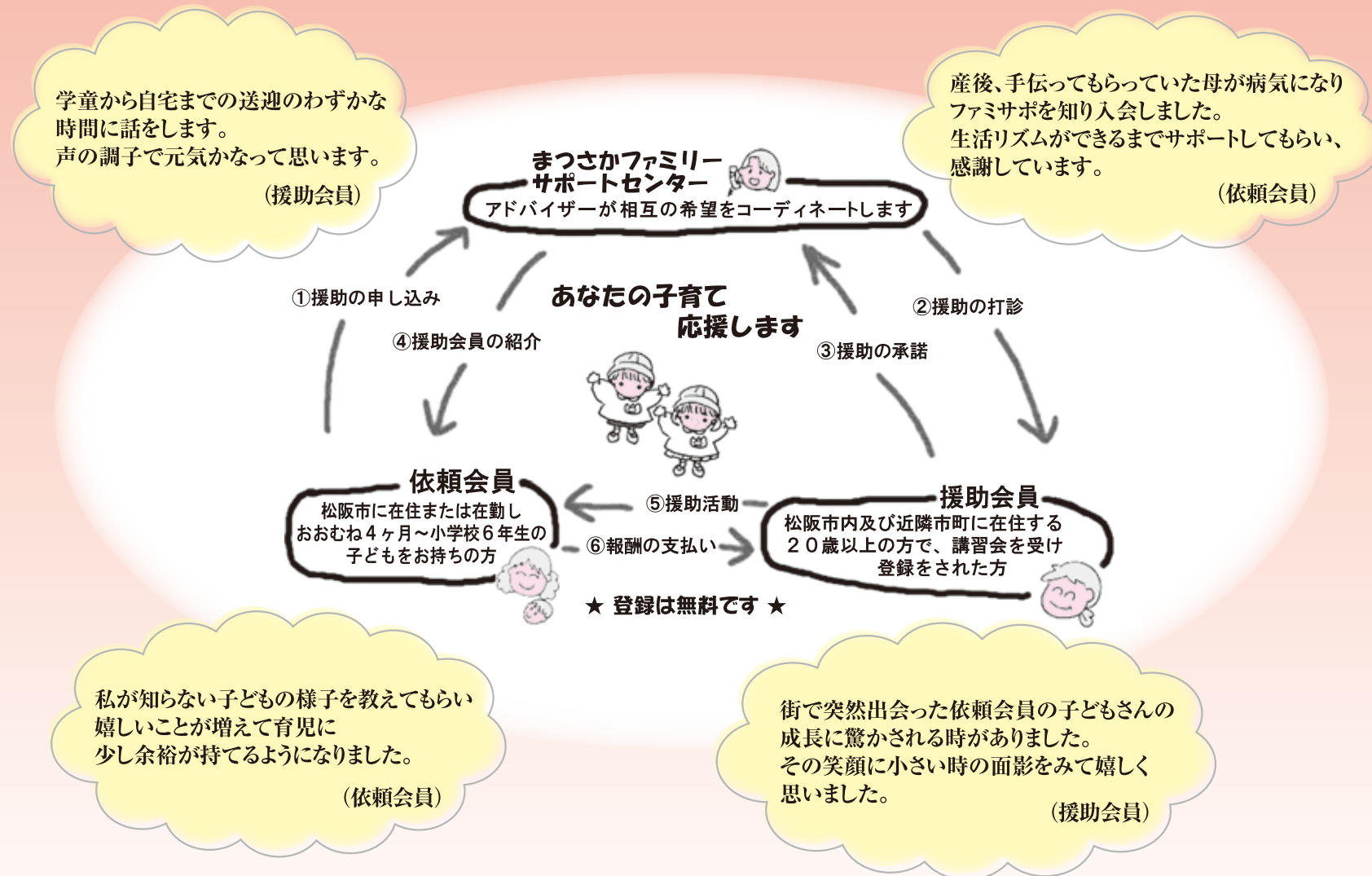
ファミリーサポート事業では養育者のできないところを支援していますが、支援をしていると「子どもが主体」であることを忘れ、ニーズに応えようとするのがよくあります。そんな時「子どもにとってどうなのか」に戻って支援することが大切だと思います。

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター 理事長 塩谷 明美

まつさかファミリーサポートセンターは（特）松阪子どもNPOセンターが松阪市より委託を受けて運営しています



相互援助について



まつさかファミリーサポートセンターは松阪市より(特)松阪子どもNPOセンターが委託を受け、スタートから11年が過ぎ現在会員数が574名となりました。

「子育てを助けてほしい」という依頼会員と「子育てのお手伝いができる」という援助会員がいます。依頼会員と援助会員が信頼関係を紡いでいき、地域に「子育ての安心」と「人と人との温かな関係」を育てていく活動をしています。地域のなかで、困ったときに「助けて」と言える相手がいる、わが子の「育ち」を一緒に喜んだり、心配してくれる人があるということは、依頼会員にとって大変嬉しいことであり心強いことだと思います。

援助会員になるには25時間の援助会員養成講座(裏面参照)を受講後、会員登録をしていただきます。また資質向上のため、年に何回かの研修会への参加が必要です。援助会員は、自分の子育ての経験を生かし、依頼会員の子どもに寄り添い、見守っています。援助会員にとっても子どもとの時間は、発見があったり元気が出たり嬉しい事があつたりします。援助会員は支援をすることで社会貢献をしている意識にも繋がっているようです。

まつさかファミリーサポートセンターは、日々会員に寄り添い受け止め、この活動を通して「子どもを主体」として「子どもや子育てにやさしいまちづくり」をこれからも進めていきたいと思っています。

・・・ 援助活動がはじまるまで ・・・

マッチングとは

入会していただいた後、援助会員と依頼会員と子どもを交えて初顔あわせをします。しくみを詳しく説明し、依頼内容の再確認等を行います。これからの援助活動のため、特に子どもとのコミュニケーションを大事にし、普段の子ども様子を聞きます。

< マッチングの流れ >

事前準備

(入会時等)
依頼内容と
子どもの様子を聞きとる
(依頼会員 ↔ アドバイザー)

依頼内容に応じた
3名程の援助会員を決める
(援助会員 ↔ アドバイザー)

マッチング当日

自己紹介

依頼内容の確認

子どもに関しての
必要な情報の確認

家と駐車場等の
位置確認

送迎場所等の
位置確認

活動費の受け渡し
方法の確認
(会員同士)

(依頼会員、子ども、3名程度の援助会員、アドバイザー)

< マッチングの様子 >



なごやかな雰囲気で行われます。